



写真を撮る

端末では、写真や動画で様々なモノなどを記録することができます。

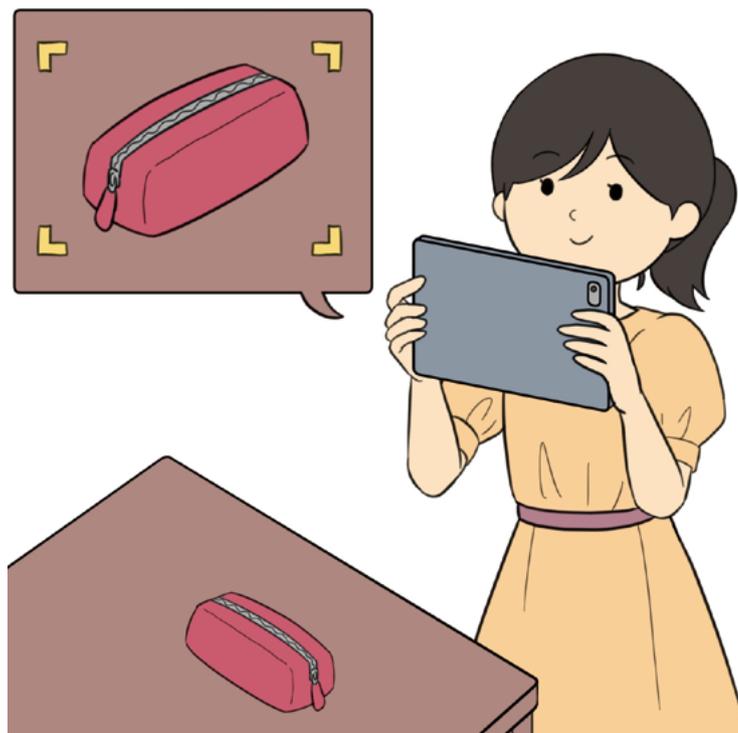
ここでは、目的に合わせた上手な写真の撮り方や写真を公開する際のリスクなどについて学びます。

最初にチェックしてみよう

- 私は、目的に合わせて上手に写真を撮ることができると思う
- 私は、動画の絵コンテをつくることができると思う
- 私は、SNSなどで公開範囲を考えて写真を公開することができると思う
- 私は、トラブルが起きりにくいプロフィールをつくることができると思う

端末を使うと写真や動画を撮ることができますが、目的に合わせて、大きく撮るのか、全体を撮るのか、動画で撮るのかを考える必要があります。

特に、レポートなどでは、製品や商品、生物などのモノだけを撮る「物撮り」^{ぶつど}の写真を使うことがあります。皆さんの端末を使って、身近なモノ（筆箱など）を「物撮り」^{ぶつど}してみましょう。



例



★ スキルのポイント

ぶつど
物撮りで意識してほしいのは、①構図、②角度、③光の3つです。

①構図では、背景を意識して背景に余計なものが入らないようにしましょう。

②角度では、高い目線の写真はモノを客観的に眺めているような感じが、低い目線の写真はモノを触ったり使ったりする感じがするので、どちらがよいか試してみましょう。

③光では、影を意識して、真上から光を当てるか斜めから光を当てるかを考えましょう。



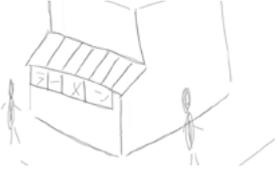
ショート動画の絵コンテをつくってみよう

職場体験学習で学んだことを活かして仕事を紹介する15秒のショート動画をつくることにしました。
どのような動画をつくるか、空いているところを埋めながら絵コンテを書いてみましょう。

	時間	絵コンテ	内容	出演者・演出
1	5秒		オープニング ラーメン屋さんの外観	
2	5秒		ラーメンの紹介	
3	5秒		お店の人からの メッセージ	お店の人



例

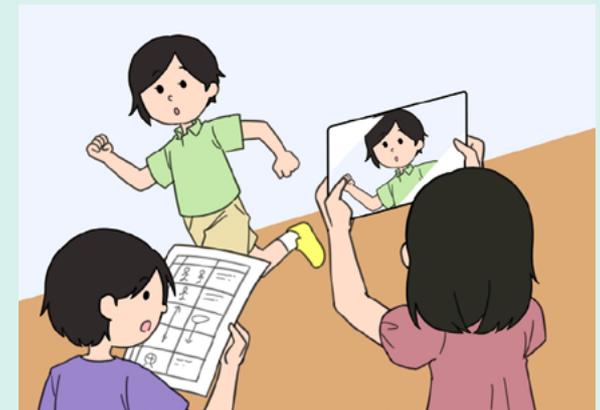
時間	絵コンテ	内容	出演者・演出
1 5秒		オープニング ラーメン屋さんの外観	目の前の道の人通りがわかるように撮影しながら、右から店の外観が入ってくるように撮る。
2 5秒		ラーメンの紹介	湯気が見えるように横から撮影。具をアップで撮るのも忘れずに。
3 5秒		お店の人からの メッセージ	お店の人 お店を開店したきっかけと、働いていてよかったことを短く編集。

★ スキルのポイント

「絵コンテ」とは、どのような映像にするか、そのイメージを具体化するための設計図です。

最近では、ショート動画と呼ばれる15秒程度の映像が増えてきましたが、そうした短い動画を作る場合にも、どのような構成にすればよいかを事前に考え、設計図を作成しておくことが重要です。

こうした設計図があることで、自分だけでなく、一緒に撮影するメンバーも完成映像をイメージしやすくなります。



どこまで写真を公開してもよいのかな

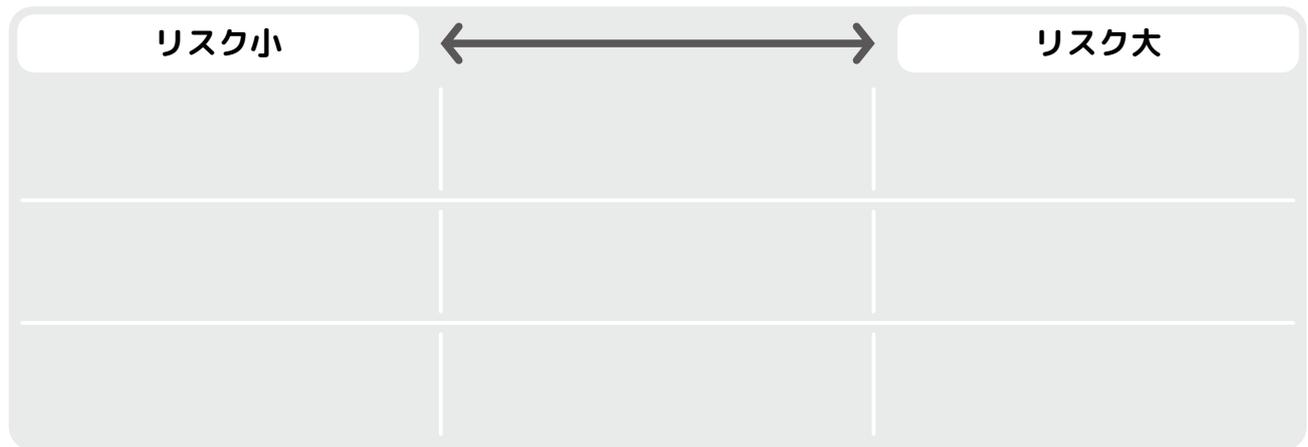
次の写真を、A、B、CのそれぞれのSNSに公開した場合のリスクを考えてみましょう。



A 仲の良い友達しか見ていないSNS

B 仲の良い友達とクラスメイトが見ているSNS

C 知らない人も見ているSNS





友達と共有してみよう

☆ スキルのポイント

写真を公開する前には「この写真を公開するとどの程度リスクがあるか」を考える必要があります。

SNS では、写真や動画を公開していろいろな人に見てもらうことも楽しみの一つであり、「絶対に写真を公開しない」というのはなかなか難しいので、「どの範囲になら公開してもよいか」ということを考えるようにしましょう。

日常でも、家族には話すけれど友達には話さないこと、友達には話すけれどクラス全員には話さないことなどを判断していますが、それと同じように公開する範囲を考えることが重要です。



自分のアカウントで、自分自身を表現することはとても重要ですが、自分の個人情報を出しすぎると様々なトラブルのリスク（危険性）も高くなります。

そこで、自分自身を最大限表現しながら、リスクの低いプロフィールを作成してみましょう。

例

フォローする



たいち

情報中 3年 / 15歳 / 自転車が趣味 /
自転車で日本一周が目標 / マヤちゃん大好き

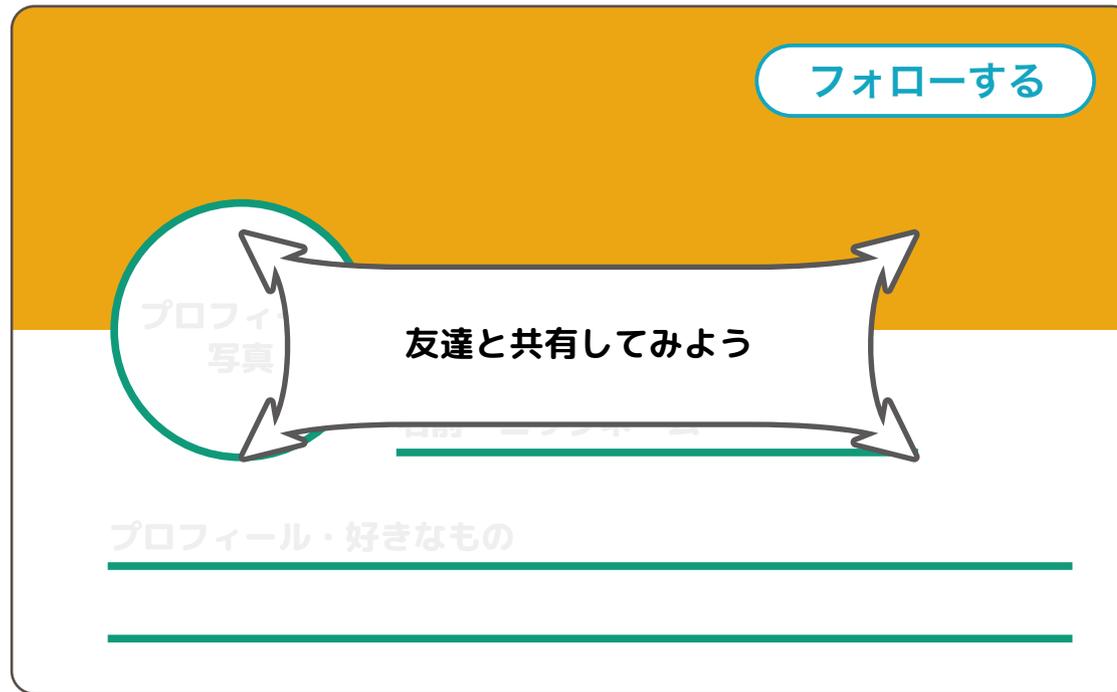
フォローする

プロフィール
写真

名前・ニックネーム

プロフィール・好きなもの





★ スキルのポイント

SNSなどのアカウントで、自分のことを表現することはとても重要ですが、自分の写真が勝手に使われたり、自分の生活が特定されたりする恐れがあるなど、様々なトラブルのリスクもあります。

プロフィール写真でも、自分の顔写真を正面から見せるのか、それとも遠くからシルエットがわかる写真を見せるのかなど、様々な工夫ができます。

自分自身を最大限表現しながら、リスクの低いプロフィールを考えてみましょう。





写真を撮る

まとめ

よき使い手になるために

写真や動画を使うと、文字よりも多くの情報を伝えることができます。

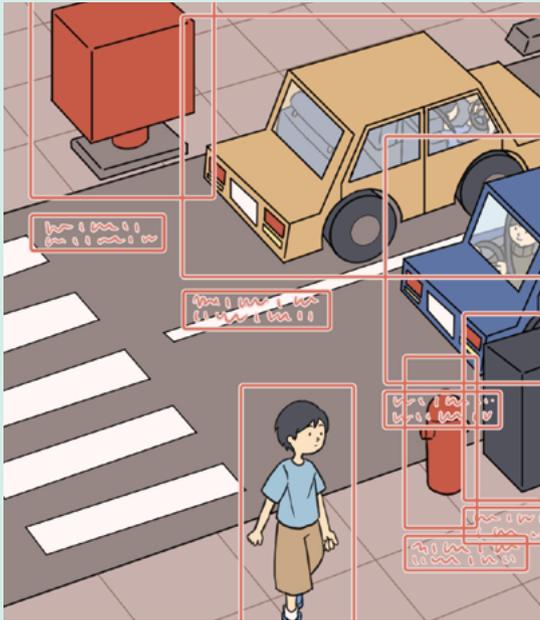
しかし、多くの情報を伝えることができるからこそ、自分が予想していなかった情報を相手を読み取ってしまう可能性もあります。写真や動画を撮ったり、公開したりするときには、様々なリスクを十分考えた上で使うようにしましょう。

チェックしてみよう

- 私は、目的に合わせて上手に写真を撮ることができる
- 私は、動画の絵コンテをつくることができる
- 私は、SNSなどで公開範囲を考えて写真を公開することができる
- 私は、トラブルが起こりにくいプロフィールをつくることができる



画像認識 × 社会問題



これからの社会では、AI（人工知能）が活躍すると言われています。
例えば、AIによる人の顔やモノの認識などの画像認識や画像分析は、これからますます広がっていくでしょう。

調べてみよう

画像認識や画像分析を使ったサービスは、どのようなモノがあるだろうか？

話し合ってみよう

画像認識を使って、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？